

# 委員会報告

2019～2020年

No.1

第6回委員会

委員会名 青少年・レオ・ライオンズクエスト委員会

委員長名 L 小林 伸光

開催日時	2020年 1月 20日(月)		16時 00分 ~		
開催場所	いけす無門				
出席者		伊賀地区ガバナー		中井 正力第二副地区ガバナー	
	○	L小林 伸光 委員長	×	L佐藤 泰治 副委員長	
	×	L浜田 祐介 副委員長	○	L松尾 和英 副委員長	
	○	L平山 和克 副委員長	×	L山田 新一 副委員長	
	○	L荻野 真由美 委員	○	L大塚 喜司 委員	
	○	L吉野 行英 委員	×	L松竹 諭規男 委員	
	○	L高橋 孝栄 委員	○	L中原 信之 委員	
	オブザーバー				
	○	L鶴ヶ谷 正司			
	キャビネット				
	○	L峰村 篤			
次第	司会・進行 L平山 和克 副委員長				
	1	委員長挨拶	L小林 伸光 委員長		
	2	出席者確認	司会		
	3	330MD副委員長挨拶	L鶴ヶ谷 正司 副委員長		
	4	キャビネット報告	L峰村 副幹事		
	5	審議事項	委員長		
	6	次回開催確認及び日程再確認	委員長		
	7	閉会挨拶	L島田 芳子 副委員長		
8					
議題	1	セミナー報告と反省点について			
	2	今後の普及活動と説明員に向けて			
	3	330-A地区 特別会計の創設について			
	4	その他			
次回開催日時	2020年 月 日(金)		時 分 ~ 時 分		
開催場所					

報告事項	1	セミナー報告と反省点について
		・参加者が同じ顔ぶれで新規の参加が少なかった。
		・始めての人は自分の中で気づく事が多く、大変為になった。
		・品川区教育指導主事 西村氏よりセミナーを受講して頂き、ご意見・普及に関する助言を頂き、大変参考になった。
		※西村先生の報告は添付します。
	2	今後の普及活動と説明員に向けて
		・木下工務店グループ経営の幼稚園 40校 山田園長に関心を持って頂き、近々で説明に行く段取りをしています。
		・バレエ、軽音コンサート等 学校関係者と打合せの機会にクエストのパンフレットを渡し導入の検討をさぐる。
		・薬物乱用防止教育の打合せの時、校長先生と30分程度面談出来るのでPR説明をしていく。
		・江戸川中央LC主催 ライオンズクエストセミナーは、結成例会として3月26日(木)開催予定 タワーホール船堀にて 30～40名程度 校長先生を始め学校関係者を中心に集めたい。
		・8月27日(木)開催の八王子市立横川中学校でのワークショップに委員会からも多数出席頂き 説明員の資格の取得を目指す。
		・1月23日(木)東京都教育委員会指導部の全体会議に取り上げて頂いた後 各地区において指導課にアプローチしていく。
	3	330-A地区 特別会計の創設について
		・他地区 特別会計の資料等集めてプレゼン用の資料を作成する。
	4	その他
		・1月31日(金)ロイヤルバレエ参加者 当日12時集合 人見記念講堂 3人出席予定

# ライオンズクエスト プログラム

令和元年12月14日(土)  
前品川区教育委員会  
指導主事 西村 柳一郎

## 1 DVDを視聴して

- DVD全般を通して、生徒や教師のインタビュー等もあり、とても分かりやすい内容であった。
- 「ライフスキル教育」は教師と子供たちとの信頼関係の上に成り立つというインタビュー内容はとても的を射ている。
- 「ライフスキル教育」という言葉に現場の教師は馴染みがない。抵抗感を与えないためにも「非認知スキル」と関連付けてプレゼンする。DVD等で、説明している「ライフスキル」は「非認知スキル」に近い。
- 主体的、対話的、実践型のプログラムなので、次期学習指導要領で強調されているアクティブ・ラーニングと合致していることがよい。
- 現場としては、このプログラムをどの時間(教科)で行うかが最大の懸案事項となる。品川区では、「市民科」の学習内容がこのプログラムとほぼ一致しているので、とても扱いやすい。他市区町村では、「総合的な学習の時間」及び「学級活動」で行うことになるであろう。そのため、この2つの教科のねらいと一致していることを十分説明し、授業をする上での抵抗感をなくす必要がある。また、「特別の教科 道徳」との関連にも触れるとよい。
- DVDからライフスキル教育の理念は伝わってくる。具体的な内容をどのように伝えていくかが今後の課題となる。教育現場は理念の共有は早いのだが、学校や教師が具体的な実践についてのイメージをもたないと、なかなか実践してくれない。

## 2 教育現場、学校現場にどのように広めていくか

- 前述したとおり、学習のねらいが共通している「市民科」がある品川区ではかなり取り入れやすい。
- 広め方としては、①1校もしくは数校を選出して、長期的、短期的に授業に取り入れてもらう。②1校もしくは数校を選出して、教員対象の研修会のみを行う。③初任者(1年目の教員)等を対象に研修会を開く。などが考えられる。品川区に限っては、10年ごとに市民科教科書の改訂があるので、「ライフスキル教育」の内容を教科書に入れてもらうよう交渉するののも一つの手である。
- 初任者対象に研修を行うときは、アウトプットをできる限り入れる。そして、研修会の終盤には「今回の研修を通して、明日、学校があるとしたら、あなたは何を行いますか。」という設問を設ける。初任者が自分自身の課題に置き換え、研修で得たことをすぐに実践できるようにする。

## 3 「適切な意志決定をするためのステップ」について

- 5つのステップが示されているが、一つ一つのステップを越えていくためのハードルが高い。
  - ステップ1 今決めることは何? → 課題把握力が必要
  - ステップ2 選択肢を考え、好ましくないものは除く → 発想力、選択決定能力が必要
  - ステップ3 結果を推測する → 想像力、自尊感情が必要。  
(自身がないと悪い結果ばかりを想像してしまう。)
  - ステップ4 決定する → 判断力、決定力が必要。
  - ステップ5 実行したら、振り返る → 実行力、自己分析力が必要
- 上記のとおり、様々な能力が必要なため、他教科、特に道徳との関連は大変重要となる。
- 意志決定は時と場合により、様々な方法があるので、チェックシートはあくまで一例として取り上げる。時には、結果が予測できなくても実行することが大切な時もある。